



Minami Wakayama
Medical Center

Vol.61

発刊：令和4年5月

南 輝

なんき

独立行政法人国立病院機構 南和歌山医療センターだより



熊野古道

基本理念 思いやりのある医療を実践します。

あなたの権利を尊重し
あなたを中心とした
あなたに適した医療を提供します

1. プライバシーの尊重を実践します。
2. 親切・丁寧なケアを実践します。
3. わかりやすい説明と納得による診断治療を実践します。
4. 地域医療機関との連携強化を図ります。
5. 自ら研鑽に努め、良質な医療の提供に役立てます。



Minami Wakayama
Medical Center

南和歌山医療センターの基本理念である
『思いやりのある医療を実践します』に基づき、

1. 明るく (A)
2. 挨拶があり (A)
3. 愛のある (A)
4. アカウンタビリティ (納得説明義務) (A)

の4つの頭文字のAを基本デザインとしています。

これは丸みをおびた形でやさしさを表現し、4つの理念が集まることで、空 (明るい未来) に向かって羽ばたく鳥を表しています。4つのカラーは黄色が明るさ、赤が愛、青と緑は南和歌山の自然の象徴である綺麗な海と、山を表現し、南和歌山医療センターの環境の良さもアピールしています。

受診者の皆様の義務

- 南和歌山医療センターは受診者の皆様と病院の双方がお互いに尊敬し、協力し合うことが安全かつ良質な医療の提供につながるものと考えます。
受診者の皆様には以下の事項に合意し、守っていただく必要があります。
1. 安全かつ最善の診療のためにご自身の身体や必要事項に関する情報を、私たち職員に正確に伝えていただくこと
 2. 検査・治療は説明を受け、納得・合意の上で受けていただくこと
 3. 当院は近隣の医療機関と連携して専門性の高い医療を提供する急性期病院である。救命救急、がんに対する医療と緩和ケアを提供する病院の役割をご理解の上、診療体制維持に協力いただくこと
 4. 病院内では静粛を保ち、院内のルールに従っていただき、他の来院者や入院中の方に迷惑をかけることのないよう配慮していただくこと
 5. 病院内ではお互いに礼儀正しく思いやりのある態度で接していただくこと
 6. 医療費の支払い請求を受けたときは遅滞なくお支払いいただくこと

受診者の皆様の権利

- 患者としてあなたには
1. 良質で公平な医療を受けられる権利があります。
 2. 人格や価値観を尊重される権利があります。
 3. 個人情報を守られる権利があります。
 4. 診療に関して、十分な説明と情報を受ける権利があります。
 5. 治療法を選択できる権利があります。
 6. 治療法について、第三者の意見を聞くことが出来る権利があります。
 7. 貴方の診療記録の開示を求める権利があります。

各部門・各診療科から ごあいさつ

院長 中村 善也

新年度となりましたがコロナ感染は収束の気配がなく、ウィズ・コロナを上手に実践していく必要があるかと思えます。当センターでは昨年度から、診療体制は完全にウィズ・コロナであります。救急を含めた一般診療は制限をかけることなく行っておりますので、従来通りに診療を受けて頂くことが出来ます。尚、全入院患者さんへの入院前コロナ検査や面会制限（2名まで、15分以内）はこれまで通り継続しますので、ご協力の程よろしくお願い致します。

副院長 木下 貴裕

コロナと闘いながら新年度を迎えました。地域の医療機関の皆様には、いつもご支援とご協力を頂き感謝申し上げます。当院は、コロナ対応と一般診療・救急診療すべて両立してやってきました。新年度も「断らない医療・思いやりのある医療」を職員に周知し、職員一丸となって救急医療・がん治療・緩和医療・一般医療すべてに全身全霊を注いでいきますので、ご指導とご鞭撻をよろしくお願い致します。

統括診療部長・臨床研究部長 橋爪 俊和

前者は2020年、後者は2011年に就任させて頂き、微力ながら院内の裏方をさせて頂いております。コロナは当然ながら、国際紛争による経済情勢など診療や研究に大いに問題となる予測不能な事態が押し寄せています。それでもこの小さな病院を地域の方々のために少しでもお役に立てるよう、診療・研究ともに充実させ、苦難の状況でこそ、あらゆる方面で努力する所存です。よろしくお願い申し上げます。

事務部長 松谷 智仁

地域の医療機関の皆様には、いつもご支援ご協力頂き感謝申し上げます。

令和3年度にMRI機器の更新を行い、3.0テスラMRI2台体制となり、待ち時間と撮影時間の短縮による患者様の負担軽減、鮮明な画像の提供ができる体制を整えております。

また、当日撮影などの緊急対応も可能となっておりますので、お気軽にご相談いただきますよう、よろしくお願い致します。

看護部長 坂口 幸子

令和4年4月に着任いたしました。コロナ禍ではありますが、今年も例年通り、桜をはじめ美しい花々が咲き、暖かく、春は私たちの心を和ませてくれています。当センターの理念の基、役割を發揮し、地域に貢献していきたいと思っております。看護部一同、安心して入院できる環境、そして看護を提供してまいりますので今年度もどうぞよろしくお願い致します。

内科

医長 金 栄浩

睡眠時無呼吸症候群、肝疾患、一般内科を診療しています。よろしくお願いたします。

呼吸器科

医師 萩原 慎

呼吸器系疾患全てに対応しております。特に肺癌に対しては呼吸器外科、放射線科とも連携し精査、治療にあっております。紀南地区の地域診療に貢献できるように努めて参りますのでよろしくお願い致します。

消化器科

医長 木下 幾晴

当科は消化器疾患の消化管・胆膵の癌の全てに対応しています。特に癌の診断・治療と急性疾患対応に力をいれております。今後ともよろしくお願いたします。

循環器科

医長 塩路 周作

循環器科では、心臓疾患（虚血性心疾患・心不全・弁膜症・不整脈など）や動脈疾患（代走脈解離・下肢閉塞性動脈硬化症など）、他に肺高血圧や肺動脈血栓症など広範に診察しています。虚血性心疾患への心臓カテーテル検査・手術は積極的に行っており、3人の循環器科医が当番制にて24時間対応しています。

小児科

医師 泉 鉉吉

てんかん診療、発達障害の診断、治療、睡眠障害や不登校、思春期の子どもへの心の相談など、幅広く診察しています。子育ての悩み等も、お気軽にご相談下さい。

小児アレルギー科

医長 土生川 千珠

子どもだけでなく大人のアレルギー診療も行っています。思春期外来では、起立性調節障害・不登校・心身症の診療を行っており完全予約制でゆっくりとお話しをお伺いしていますので、お気軽にご相談ください。

外科

外科系診療部長 横山 省三
医長 渡邊 高史

胃・大腸の腹腔鏡手術、肝胆膵外科手術に対して迅速に対応させていただきます。良性疾患に対しては、可能な限り低侵襲手術を実施しています。また小児外科専門医も常勤しており、いつでもご紹介、ご相談ください。

胸部・心臓血管外科

医長 川後 光正

主に肺癌・自然気胸などの呼吸器疾患に対する手術を行っております。特に肺癌は呼吸器科・放射線科と連携の上、集学的治療を行っており、ご紹介をよろしくお願い申し上げます。

整形外科

病棟診療部長 江川 弘光
医長 中村 正亨

重度を含めた外傷と変性疾患は手外科、脊椎を中心に幅広い疾患に対応しています。診察の結果、当院で対応できない疾患の場合は適正な医療機関へ紹介させていただきますので、まずはご相談ください。

脳神経外科

医長 尾崎 充宣

脳卒中、脳腫瘍など神経疾患を幅広く、迅速に対応させていただきます。何かありましたらお気軽にご連絡のほどお願いたします。

皮膚科

外来診療部長 南 宏典

夏は感染、昆虫、植物、発汗、紫外線増強による皮膚疾患が増えます。冬は低温、乾燥、衣類、暖房、紫外線減弱による皮膚疾患が増えます。春と秋は結節性紅斑、ジベルばら色粧糠疹が増えます。どの季節でも受診を。

眼科

医師 田中 公子

本年度も白内障、緑内障、糖尿病網膜症等といった眼疾患に関しまして、真摯に対応していく所存です。何かございましたら、是非お気軽にご相談ください。宜しくお願致します。

放射線科

医療技術部長 辻 孝
医長 田中 文浩

MRI、CT、RI等による様々な画像診断に対応しております。放射線治療もIMRT等、高精度の治療が可能となっております。IVRを含め、放射線科医4名の体制で頑張っております。よろしくお願い致します。

歯科口腔外科

医師 森 恵一

抜歯をはじめ、嚢胞や口腔顎顔面外傷、口腔がん治療などさまざまな口腔外科領域の疾患に対応しています。必要に応じて他科や大学病院とも連携し標準治療を提供できるよう努めています。些細なことでもお気軽にご紹介ください。

麻酔科

医長 平野 勇生

高齢者や重い合併症を有する患者さんにも、安全を守りながらつらくない麻酔を心がけています。また脳神経外科や消化器外科をはじめとする緊急手術の麻酔依頼に対しても、迅速に対応できるよう体制を整えています。

救命救急科

救急災害医療部長 **川崎 貞男**
 医長 **島 幸宏**

当科は、重症外傷、重症呼吸不全、敗血症性ショック、重症熱傷などを中心として診療しています。「こいつはヤバそうで困ったな」等という症例がありましたら、ご紹介いただければなんとか力になりたいと考えています。

病理診断科

医師 **北市 正則**

2016年から病理診断科を標榜しております。2021年は組織診1,962例(術中診断59例)、細胞診1,142例で剖検例CPCは2回の実績がありました。術中診断は肺陰影例が多く、感染対策装置内で切出しを行い、組織は伸展固定で検討しています。

緩和ケア科

副院長 **木下 貴裕**

緩和医療は、がんと診断されてから始まります。少しでも症状のある患者(痛み・不眠・不安・全身倦怠感など)がいらっしゃいます場合は、ご紹介頂ければ幸いです。少しでも、先生方のお役に立つようがんばりますのでよろしくお願いいたします。

総合診療科

医長 **島 幸宏**

今年度から2名体制になりました。お困りの症例をご紹介ください。よろしくお願いいたします。

薬剤部

薬剤部長 **續木 康夫**

薬の専門家として、患者さまにより良い薬物治療が提供できますように日々努めております。他の職種や地域との連携は欠かせません。

診療放射線科

診療放射線技師長 **出津野 篤**

昨年度10月にMRI装置を更新しました。3テスラ装置2台体制になり、高画質の画像をより早く提供できるようになっております。脳ドックを実施していますので、ご検討いかがでしょうか。

臨床検査科

臨床検査技師長 **三村 拓郎**

検査科は16名の臨床検査技師を擁し、2021年はSARS-CoV2抗原定量を11,406回、PCRを372回実施。地域の新型コロナ蔓延防止に貢献した。若手技師が他施設赴任時に独り立ちできる様に研鑽中。

リハビリテーション科

理学療法士長 **寺地 美幸**

病気や怪我により日常生活に不自由を強いられている方に、一日でも早く希望をもって自分らしく過ごしていただくため、当院では患者に寄り添いながら良質な安全な医療を提供することを心がけています。

ME室

主任臨床工学技士 **柿原 彰人**

医療機器の専門医療職で、生命維持管理装置の保守・点検で医療の安全確保に努めつつ、様々な治療シーンで医療機器を通してチーム医療に貢献している部署です。

栄養管理室

栄養管理室長 **表 順子**

管理栄養士5名が、患者様の栄養状態を確認し、必要に応じて食事調整や栄養相談を行っています。栄養サポートチームの他、褥瘡対策チームや緩和ケアチームとも連携し、栄養面でのサポートを行っています。

こころの相談室

心理療法士 **濱仲 直子**

人間関係の悩み、子育ての相談、性格の悩みなど、さまざまな心の問題や悩みに関するカウンセリングを行っています。皆さまの心の健康を保つためのサポートに努めてまいりますので、何卒よろしくお願いいたします。

地域医療連携室

係長 **松葉 ゆりか**

特定検診やがん検診、脳ドッグ等の検診業務や、地域の先生方からのご紹介、在宅医療を含めた退院支援が円滑に行われるよう地域医療関係者と連携を図っていきたく考えています。皆様ご協力よろしくお願いいたします。

編集後記

梅雨も近づき、体調を崩しやすい季節ではありますが、皆さま体調はいかがでしょう？私は、恒例の田植えも終わり、GWも明けた所であり、少し疲れが出ています。皆様もご自身の健康のため、一度当院での健診を受けてみてはいかがでしょう？

地域医療連携室 **小倉 政斗**